

## 第6回平岡不整脈研究会 プログラム

日時：平成19年12月8日 13:30～18:45

場所：「KKR ホテル熱海」

静岡県熱海市春日町7-39

Tel：0557-85-2000 FAX：0557-85-6604

13:30～13:40 開会挨拶 山根禎一（東京慈恵会医科大学）

13:40～13:55 セッションⅠ：

座長：

- 1) 岡田寛之、山内康熙、鈴木篤、久佐茂樹、嘉納寛人、高村千智、川崎まり子、杉山知代、橋本敬史、宮本貴庸、尾林徹（武蔵野赤十字病院 循環器科）  
「肺静脈隔離術に関連して生じた肺静脈頻拍に対するアブレーション治療と頻拍機序に関する検討」
- 2) 林 達哉、平尾見三、蜂谷仁、古川俊行、佐々木毅、樋口晃司、  
（東京医科歯科大学 循環器内科）  
「頻脈性心不全をきたした左心房先端起源性心房頻拍」
- 3) 日吉康長（東京都保健医療公社 荏原病院 循環器）  
「心房細動における糖代謝異常」

13:55～14:40 セッションⅡ：

座長：

- 3) 山本真千子（宮城大学 看護学部）  
「自律神経活動の日内変動における性周期の影響」
- 4)
- 5)

以下昨年（第5回）の演題

6) 高橋良英、宮崎晋介、桑原大志、高橋淳（横須賀共済病院・循環器センター内科）

「カテーテルアブレーションから考察される心房細動維持メカニズムについて」

14:40~15:20 セッション III：心室不整脈

座長： 山内康熙（武蔵野赤十字病院）

7) 深水誠二、岡崎英隆、田辺康弘、辰本明子、久次米真吾、小宮山浩大、櫻田春水（都立広尾病院 循環器科）

「興奮伝播過程の変化が原因と考えられた Torsade de pointes 発症例」

8) 大和恒博、佐藤明、大関敦子、村松賢一、田島弘隆、村松 穰、武居一康、浅川喜裕、新田順一（さいたま赤十字病院 循環器科）

「左脚後枝抹梢近傍起源の頻発性心室性期外収縮に対し高周波カテーテル焼灼術が有効であった2例」

9) 畔上幸司、脇本博文、沖重薫（横浜市立みなと赤十字病院 循環器科）

「Epicardial hypothermia, its antiarrhythmic effects」

C o f f e e B r e a k （15:20~15:40）

15:40~16:32 セッション IV：特発性心室細動と Brugada 症候群

座長 畔上幸司（横浜市立みなと赤十字病院）

” 横山泰廣（東京医科歯科大学）

10) 神崎恭子、山根禎一（東京慈恵会医科大学 循環器内科）

「Family CRP で救命され、アブレーションで根治に成功した特発性心室細動の一例」

11) 林 達哉、山分規義、西崎光弘（横浜南共済病院 循環器内科）

「Brugada 型心電図を呈した左室流出路起源の PVC の1例」

12) 泉田直己、浅野優、岩本真理、牛ノ濱大也、佐藤誠一、住友直方、高橋良明、田内宣生、長嶋正實、中村好秀、新村一郎、堀米仁志、安田東始哲、吉永正夫、脇本博子 (小児 Brugada 様心電図例の生活管理基準作成に関する研究委員会)(永泉会 曙町クリニック)

「小児 Brugada 様心電図例の臨床的特徴」

13) 田邊康弘、岡崎英隆、深水誠二、辰本明子、久次米真吾、小宮山浩大、櫻田春水 (都立広尾病院 循環器科)

「Brugada 症候群における加算平均心電図の特徴と有用性」

休憩 (16:32~16:40)

特別講演 I (16: )

座長:

1?) 青沼和隆 (筑波大学 循環器内科)

「基礎心疾患を有する悪性心室性不整脈に対する洞調律高密度基質マッピング法」

特別講演 II (17: )

座長:

1?) 熊谷浩一郎 (福岡大学 循環器内科)

「心房細動に対する BOX isolation」

16) 講評 平岡昌和 (18:30~18:40)

17) 研究会 閉会の辞 (18:40~18:45)

岡崎英隆 (広尾病院)

19:00 ~ 21:00 忘年会

